食と農の映画祭

4th.
FOOD & AGRICULTURE
FILM FESTIVAL

2012 in ひろしま

10/27(土)▸11/2(金)

シネツイン本通り

広島市中区本通 2-22 アペックス地下

1プログラム券　前売 1,000 円／当日 1,300 円

●前売券販売所　八丁座、サロンシネマ、シネツイン、エディオン広島本店プレイガイド、福屋広島駅前店チケットサロン、アルパーク天満屋チケットサロン

回数券（5枚綴）　4,000 円（前売のみ）　フリーパス　6,000 円（前売のみ）

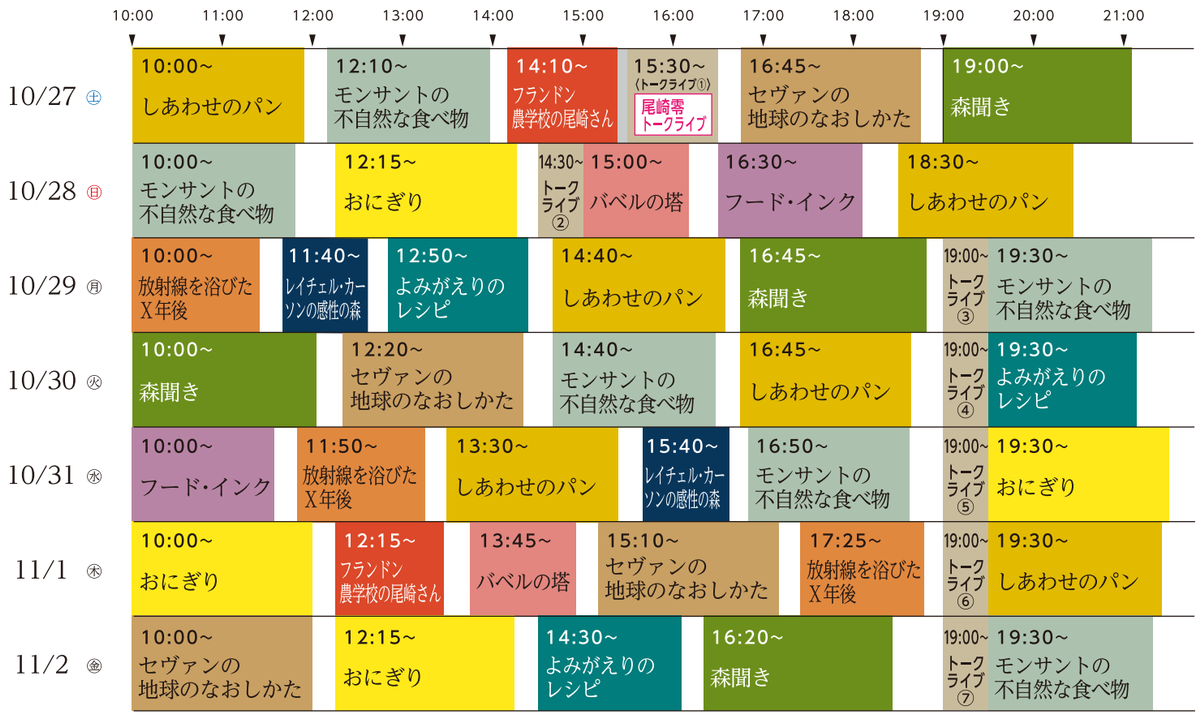
※回数券とフリーパスは、八丁座、サロンシネマ、シネツインでのみ販売中（2012 年 10 月 26 日まで）

後援　広島県、広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会、（社）広島県栄養士会
協賛　JA 広島中央会、生協ひろしま、食協（株）、（有）グリーンブリーズ
協力　（株）序破急
主催　食と農の映画祭 2012 in ひろしま実行委員会

4th. FOOD & AGRICULTURE FILM FESTIVAL

上映スケジュールとプログラムのご案内

（★）付きの映画プログラムは「トークライブ」と併せての上映になります。



放射線を浴びたX年後

2012年／日本／83分
監督：伊藤英朗

1954年、ビキニ環礁で水爆実験が行われた。被ばくマグロは廃棄され、漁師たちは病に倒れた。その後、200万ドルと引き換えに、すべての魚が日本の食卓にあがった！「セシウム、機密文書、もろく砕けた人骨…」。見えてきたのは、X年後の驚くべき実態だった。数々の賞を受賞した、ローカル局製作のドキュメンタリー番組に新たな映像を加え映画化された、問題作です。

10月29日（月） 10:00~11:23
10月31日（水） 11:50~13:13
11月1日 （木） 17:25~18:48

森聞き

2010年／日本／125分
監督：柴田昌平

高校生4人が、「森の名人」と呼ばれる人たちの人生と技を聞き書きしていく姿を追った作品です。「生きるというのは好き嫌いじゃない」。名人が口にした言葉を高校生たちはどう受け止めたのか。日本が近代化を進める中で打ち捨ててきた山村生活の老人たちとの出会いを通して、今の日本の若者たちが抱える生きにくさや、未来への不安を乗り越えていく様子が描かれます。

10月27日（土） 19:00~21:05
10月29日（月） 16:45~18:50
10月30日（火） 10:00~12:05
11月2日 （金） 16:20~18:25

バベルの塔

2011年／日本／70分
監督：高垣博也

チェルノブイリから25年、未曾有の震災が日本を襲った。その時、原子の火を弄んだ人類に鉄槌が下った。いまだ収束を見せない福島原発事故。使用済み核燃料棒による爆発について、安斎育郎氏、小出裕章氏、深尾正之氏など長年にわたり原発を研究してきた方々の証言と、福島県内避難区域20キロ圏内の撮影映像を交え、原発の真実に迫ります。

10月28日（日） 15:00~16:10（★）
11月1日 （木） 13:45~14:55

モンサントの不自然な食べ物

“Le monde selon Monsanto”
2008年／フランス、カナダ、ドイツ合作映画／108分／字幕
監督：マリー＝モニク・ロバン

世界の遺伝子組換え作物市場の90%を支配するモンサント社。取材で世界中を飛び回るフランスのジャーナリスト、マリー＝モニク・ロバンは先々でこの巨大多国籍企業の黒い噂を耳にする。「世界の胃袋を握れ」。食の安全や環境の影響など意に介さないモンサントの恐るべきビジネス戦略が明らかに。

10月27日（土） 12:10~13:58
10月28日（日） 10:00~11:48
10月29日（月） 19:30~21:18（★）
10月30日（火） 14:40~16:28
10月31日（水） 16:50~18:38
11月2日 （金） 19:30~21:18（★）

おにぎり

2004年／日本／120分
監督：斉藤耕一
出演：吉永雄紀、松原智恵子、永島敏行

東京から山形県に駆け落ちしてきた若い二人。そこで出合った農家の男性は「大日本生き残り隊」を結成して明るく暮らしている。コメ作りを通して結婚、出産といった人生の大きな岐路に立ち、悩みながらも成長していく二人の姿を描く。ときに厳しく、ときにあたたかく、大自然に謳いあげる命の叙事詩が描かれています。

10月28日（日） 12:15~14:15
10月31日（水） 19:30~21:30（★）
11月1日 （木） 10:00~12:00
11月2日 （金） 12:15~14:15

しあわせのパン

2011年／日本／114分
監督：三島有紀子
出演：原田知世、大泉洋

北海道の月浦、湖が見渡せる丘の上でパンカフェを営む夫婦の物語。夫の焼いたパンと、それに合うコーヒーと料理をつくる妻。様々な心の傷を抱えた人たちが、二人の店を訪れ、少しだけ元気になってまた歩き出す。来訪者の見つけた“心の中のしあわせ”とは？そして彼らを見守る二人に訪れることとは？ 昨年公開の劇場話題作です。

10月27日（土） 10:00~11:54
10月28日（日） 18:30~20:24
10月29日（月） 14:40~16:34
10月30日（火） 16:45~18:39
10月31日（水） 13:30~15:24
11月1日 （木） 19:30~21:24（★）

フランドン農学校の尾崎さん

2006年／日本／73分
監督：高橋一郎

「卒サラ」と言ってサラリーマンを辞めた尾崎零さんは、大阪の北部、能勢町で有機農業を実践している。人という生き物が、自然界の中で生きていく最も基本になる暮らしが有機農業の生活であると、「命・循環・調和とバランス」をモットーに暮らす尾崎さんの1年間を追い続け、そこから見えてくる“いのちの大切さ”をさりげなく伝えるドキュメンタリー映画です。

10月27日（土） 14:10~15:23（★）
11月1日 （木） 12:15~13:28

よみがえりのレシピ

2011年／日本／95分
監督：渡辺智史

世代を超えて地域に受け継がれてきた“在来作物”。減少の一途をたどる在来作物にこだわり、独自の料理法で個性的な味・食感・香りを生かした山形のイタリアンシェフ。焼き畑農法を研究する学者は、「ここにしかない在来作物」が、地域再生の起爆剤になると確信する。そして、手間を惜しまず種（たね）を守り続ける農家の人たち。在来作物と種を守り継ぐ人々の物語です。

10月29日（月） 12:50~14:25
10月30日（火） 19:30~21:05（★）
11月2日 （金） 14:30~16:05

トークライブ

（★）付きの映画プログラムは「トークライブ」と併せての上映になります。

トークライブは「食と農」の第一線で活躍されている多彩な方々を、日替わりでお招きして、現場の声をお話しいただく企画です。映画と併せてお楽しみください。

特別ゲスト

尾崎零トークライブ
10月27日（土）15:30

映画『フランドン農学校の尾崎さん』の上映に引き続いて尾崎零氏本人がトークライブに登場します。3反歩の農地で生活出来る百姓を理想として実践する尾崎さん。そのストレスのない軽やかな生き方を語っていただきます。

セヴァンの地球のなおしかた

“Severn, The voice of our children”
2010年／フランス／120分／字幕
監督：ジャン・ポール・ジョー

「どうやってなおすかわからないものを、壊し続けるのはもうやめてください」。1992年の地球環境サミットで12歳のセヴァン・スズキは大人たちに訴えた。あれから20年、もうすぐ母となるセヴァンは、カナダのハイダグワイ島で自然と共存する生活をしながら、世界中の人々に再度訴えかける。行動を起こすなら、今がその時だ、と。

10月27日（日） 16:45~18:45
10月30日（水） 12:20~14:20
11月1日 （木） 15:10~17:10
11月2日 （金） 10:00~12:00

フード・インク

“FOOD, INC.”
2008年／アメリカ／94分／字幕
監督：ロバート・ケナー

昨年の上映で衝撃を与えた話題作のアンコール上映。私たちが普段口にしている食べ物の生産過程を追う中で、大量消費と大量生産の時代に農業や畜産業が巨大な生産工場と化した現実が明るみにでる。食の市場を牛耳る一部の巨大企業や、遺伝子組み換え食品など、アメリカの食事情についての、驚愕の実像を目の当たりにする作品です。

10月28日（日） 16:30~18:04
10月31日（水） 10:00~11:34

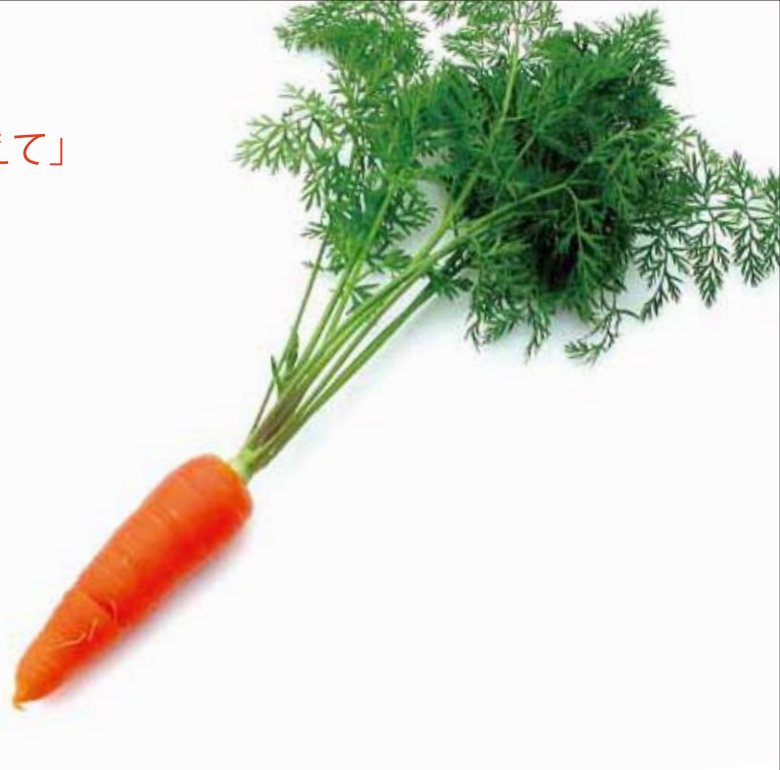
レイチェル・カーソンの感性の森

“A Sense of Wonder”
2008年／アメリカ／55分／字幕
監督：クリストファー・マンガー

レイチェル・カーソンの遺作となった『センス・オブ・ワンダー』を映画化。主役と脚本はカイウラニ・リー。彼女は同作を一人芝居にして自ら、18年間世界中で演じてきた。映画でも、世界で初めて化学物質が環境に与える危険性を告発した大ベストセラー『沈黙の春』執筆のいきさつや、自然環境を守ることの大切さをひとり語ります。

10月29日（月） 11:40~12:35
10月31日（水） 15:40~16:35

（※50音順）



「22 世紀へつなぐ 22 年後の食と農を見据えて」

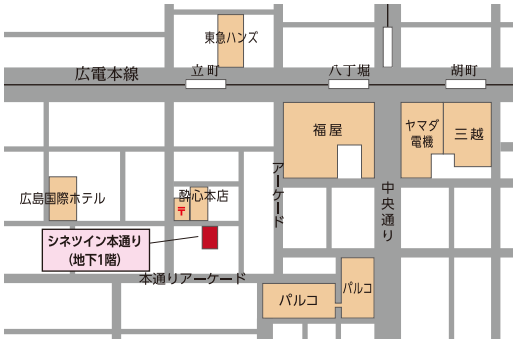
私たちの「食」は、数え切れない命に支えられています。
それなのに、私たちは自らの欲望のままに
際限なく「もっと、もっと」を追い続けてきました。
命の循環の根幹にある「農」の営みすらも
人間の都合に合わせてねじ曲げてきた結果、
健やかな命を育むはずの食べ物や環境が、
今では私たちの体や心をむしばんでいます。
昨年の 3 月 11 日に起きた始末におえない原発事故は
未来の命までも危うくするものです。
しかし、私たちは危機感と不安を抱きつつも、
希望と期待を込めて明るい未来を思い描いています。
22 世紀は果たして輝ける未来であってくれるのでしょうか。
そんな遠い未来でなくても、あなたの 22 年後をイメージしてみてください。
未来は今の私たちの生き方につながっています。
子どもや孫の世代に
次の 22 世紀につながる持続可能な循環型社会をバトンタッチしなくては…。
お金やものを軸にした今までの価値観から離れて、
まず「食と農」の現場から未来の命、未来の地球を見据え、
何をどんな風に変えられるのか、みんなで考えましょう。
まずは知ること。そして、実践すること。
急いでもいい答えは見つかりません。
時間も手間もかけることを惜しまず、じっくり考え、ゆっくり行動していきましょう。
第 4 回目となる「食と農の映画祭２０１２ｉｎひろしま」では、
“22 世紀へつなぐ 22 年後の食と農を見据えて”をテーマに、
11 本の映画を上映します。
これが未来への新しい一歩となることを願って…。
多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

食と農の映画祭 2012 in ひろしま実行委員会 構成団体

広島県有機農業研究会、ひろしま合鴨水稲会、自然生態環境研究会
地産地消事業ネット広島、MOA自然農法広島県連合会、NPO法人環・太田川
NPO法人広島EM普及協会、百姓や会、広島さいたら研究会
NPO法人よもぎのアトリエ、NPO法人あいあいねっと、NPO法人ゆうきびと
広島なずなの会、広島連塾 Sun☆テラス、シネマキャラバンV.A.G
※順不同

お問合せ TEL 082-285-8165 シネマキャラバン V.A.G

シネツイン本通りのご案内



広島市中区本通 2-22 アペックス地下 電話 082-241-7711